

# アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和4年10月21日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

## 1 調査結果の概要

- ・栄養の蓄積状態を示す貝柱のグリコーゲン含量は、前月に引続き南部海域で健康度の指標となる3.0%を下回る値となった。
- ・真珠層の褐変個体は南部海域では確認されなかったが、中・北部海域では前月に引続き確認された。
- ・貝柱の赤変個体は引き続き確認されず、赤変度合を示すa値の平均値は低かった。
- ・水温は、9月以降、平年値に比較して高めに推移している。
- ・産卵後の回復が十分でなく、真珠層の褐変個体出も確認されていることから、引き続き貝の管理には十分注意してください。

## 2 調査結果一覧

( )内は昨年同月の値、[ ]内は前月の値

漁場*1	貝の種類 (R3産)	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体 (個)	褐変個体 出現率
北部	日中交雑貝*2	5.7(2.5)	0.2(2.5)	0	20% [5]
中部①	日中交雑貝	3.4(2.4)	0.3(2.6)	0	5% [15]
中部②	日中交雑貝	3.4(4.3)	0.9(1.2)	0	5% [15]
南部	日本貝	2.0(2.1)	0.3(0.3)	0	0% [0]
南部	日中交雑貝	1.7(2.1)	0.6(1.3)	0	0% [0]
平均値		3.2(2.7)	0.5(1.6)		

\*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

\*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

## 3 調査方法

- ・4月から11月まで月1回（概ね第3週）、各漁場・種類毎に20個を調査。
- ・サンプルは、愛媛県漁業協同組合本所宇和島事業部が、調査日2日前をめぐりに各漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝（2年貝）。

## 4 調査項目および判断指標

- ・グリコーゲン含量 (%)：アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- ・a 値：閉殻筋（貝柱）の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。  
赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。